

ファインネットワーク通信

2015年7月号

こんにちは！
ファインネットワークの赤木広紀です。

最近、万年筆を使っています。
スツとインクが出てくるので、書き心地
がとてもなめらかですね。



丁寧に一文字一文字書いていると、不思議と頭の中の考えも静まってきて、気持ちも自然と落ち着いてきます。

この感覚、どこかで体験したことがあるなど、思い出したのが、お寺の写経でした。

書くことに限らず、食べることや歩くことなど、普段の動作を敢えて少しゆっくりすると、頭の中の考えもゆっくりとなり、焦る気持ちも減ってきます。

最近、マインドフルネスといった瞑想がちょっとしたブームになっていますが、じっと座って目をつぶるだけが瞑想ではなく、一つ一つの所作を丁寧にすることも、立派な瞑想なんだと思いました。

それでは今月もよろしくお祈りします！

始まりがあるものは全て終わりがあ

京都から地下鉄で10分ほど北に行くと、鞍馬口という駅があります。この駅前に昔、関西文理学院（通称、カンブリ）という予備校がありました。

今からちょうど25年前、浪人生だった私が1年間お世話になったところです。

先日、数年ぶりにその予備校の近くを通りかかると、建物を取り壊す工事で立入禁止に。

生徒の減少で数年前に閉校したことは知っていましたが、建物自体は別の用途に使われていたので、ちょっとショックでした。

後日、改めて見に行くと、まだ建物はほとんど残っていて、当時の面影を感じることができました。

後にも先にも、あのときほど一生懸命勉強したことはありません。一緒に学んだ仲間とは今でも付き合いが

あるくらい学びも人間関係も充実した一年でした。

そんな濃い思い出が詰まった建物が取り壊されるとするのは、何だか自分の大事な一部が壊れるようで、なんとも言えない切なさが胸にこみ上げてきました。

何かを失ったり、何かが無くなったりするとき、それが大事なものであればあるほど、悲しみは大きくなります。そして、何とか失わないで済む方法はないかと、もがき苦しみます。

でも、もうとどめておくことは出来ないのだと悟ったとき、フッと力が抜けてラクになる。

「始まりがあるものは全て終わりがあ

これは、私の大好きな映画「マトリックス」のセリフですが、終わりがあ

んなことを解体される校舎の前で思ったのでした。

トランスフォーマーになりました !?

んっ？ 変身ロボットになった !?

いえいえ、もちろん違います（笑）



トランスフォーマーとは、NLPトレーナー山崎啓支さんが開発したNRTワークショップの手法を用いて、根本的な変化を求める人に対して個人セッションを行うことができる資格です。



コーチングにも役立つと思って、1年間のトレーニングを受けていましたが、自分自身も思いがけない変化がありました。

「自分のあり方が変わらないと、相手も根本的には変わらない」

このことは以前から知ってはいましたが、まだまだ知っていただけで実感できていなかったことを、今回、よく分かりました。

クライアントの皆様には、コーチングセッションとは別に、無料でこのNRTセッション（1時間）を1回提供しますので、受けてみたいと思われたら、声をかけてください。

次はアミーゴのコーナーです！→

アミーゴのゆるめる毎日

ファインネットワーク “福” 社長の朝比奈です。

「ほしの島のにゃんこ」というゲームアプリをご存知でしょうか？
今、我が家で流行っています（笑）



私がタブレットを買ったときに、娘にせがまれてインストールしました。

子供向け知育アプリと銘打ったものでしたが、試しにやってみると・・・なかなかのモノでした！

ジャンルはいわゆる「育てゲー」でしょうか。

自分たちで経営している畑や牧場で収穫したものを、自分たちのお店で売って、収入を得ます。



最初は牛乳や卵といった収穫物を、そのままお店で売るだけです。

お金が貯まると機械を買って、収穫物を加工したものの、例えばケーキやハンバーガーを売ることができます。

その中で、8歳娘にケイザイを教えます。

「卵やさつまいもを育てる仕事は1次産業と言われるの。

で、それを機械を使って、ケーキにしたりフライドポテトにするんだけど、それは2次産業。
出来たものを売るのはお店だけど、それは3次産業と言われるサービス業ね。」

「卵を使ってケーキにしてお店に売ると、卵だけのときより高く売れるようになるの。
つまり、材料だけより加工した売った方が値段が上がるのよ。」



ケーキやサンドイッチを作るためには、機械を購入しなければいけません。（いわゆる設備投資ですね）

娘は、せっかく貯めたお金が減るのを渋りました。

そこで、私はこう説明したのです。

「お客さんがケーキを欲しがっても、機械が無ければケーキを作れないから、買ってもらえないよ。

機械を買わなければ、今のお金は減らない。
でも、一時のお金はすごく減っても、買った機械でケーキを作れば、たくさんのお客さんが買って来て、今のお金以上に増えると思うよ。

こういうお金の使い方を“投資”というわけ。」

「機械だけ増えても、にゃんこ（人手）が少ないと機械を動かせない。逆ににゃんこが多くて機械が少なければ、にゃんこを遊ばせるだけ。そのバランスが大事。」

娘にはまだ難しいようですが、おぼろげには伝わっているみたいです。

もう少し大きくなった時に、「これって、にゃんこで言うところの・・・」と理解してくれたらいいですね。

ちなみに、最初は私と娘だけでのんびりだらだらと商売していました。夫が入ってからは、にゃんこ島の売上は、規模とともに一挙拡大です。さすが（笑）

嬉しかったこと



友人で画家の長友心平さんが、大阪の阪急百貨店でイベントをするということで、家族で出掛けました。

心平さんは5月に、NHK教育の「趣味どきっ！」にも出演し、具志堅用高さんや佐藤藍子さんに、ペットの絵の書き方を指導してました。

今回のイベントでは、お客さんが飼っているペットの写真を元に、心平さんがペットの絵画を描いてくれるというものでした。

開店と同時に、当日分の予約が埋まったそう！

彼はこれまで数万とも言えるペットや人間の似顔絵を即興で書いてきた人なのでですね。

「数をこなせば、目の前にいる人やペットの特徴をすぐに掴めるようになりますよ」



そう言いながら、休憩時間に娘の似顔絵を、サインペンを使って数分で描いてくれました。

まあ、何とも特徴を掴んでいて・・・さすがです。

ちなみに、予約された方のペットの絵画はもっと本格的です。アクリル絵の具で色を足していくと、キャンバスの中のペットがみるみる生命力が溢れてきます。

そのさまを、娘も食い入るようにみてました。

ファインネットワーク通信

発行者：赤木広紀・朝比奈映未

〒615-0025

京都市右京区西院西矢掛町 18 番地

TEL：075-951-6310

HP <http://www.finenetwork.com>

Facebook <https://www.facebook.com/finenetwork>

